

花粉症にもジェネリック医薬品、使ってみませんか？

花粉症で通院の方へ

桜の便りが次々と聞かれるこれからの季節、うらかな春の日差しの中、明るい気持ちで新年度を迎えておられる方もいらっしゃるでしょう。

しかし、**花粉症の方**にとっては大変つらい季節でもあります。

花粉症は一度なってしまうと治りにくい病気、また誰でもなる可能性がある病気といわれています。

まずはしっかり花粉症対策をして、症状の軽減とあわせて『**お薬代の節約**』を試みてはいかがでしょうか？



今年のスギ花粉の飛散量は？

日本気象協会が発表した『2014年春の花粉飛散予測』によると、近畿地方のスギ花粉の飛散開始時期は「2月下旬」からです。スギ・ヒノキ花粉の総飛散数は例年並みかやや少くなると予想されています。

一般に次のような日は、花粉の飛散量が多くなりますので、日々の気象情報を確認して、花粉対策にお役立てください。

- 最高気温が高い日
- 雨上がりの翌日の晴れた日
- 風が強く、晴れて空気が乾燥する日

>> [日本気象協会の花粉情報\(外部リンク\)](#) <<



日常でできる、花粉症対策

セルフケアの基本は、花粉を遠ざけることです。

まずは日常生活で花粉を取り入れないように工夫をしていただき、あわせてお薬を使うことで症状の緩和を図ることができます。



<外出するとき>

- **マスクやメガネでしっかりガード！**
花粉症用のマスクでは花粉が約 1/6 程度に減少することがわかっています。
なるべく目の細かいものを選び、また、メガネや帽子もあわせて着用しましょう。
- **ツルツル素材で花粉を寄せ付けない！**
花粉と仲よし(付着しやすい)なウールやフリースは避けましょう。
ナイロンやレザーなどのような花粉を払い落としやすい素材を選びましょう。
- **ドアを開けるその前に花粉とさよなら！**
外出から帰ってきたら、まず花粉を払い落としてから入室しましょう。
- **手洗い・うがいで花粉をスッキリ！**
入室したら、手洗い・うがいで鼻や目についた花粉を洗い落としましょう。

お薬による花粉症対策

花粉症は、免疫物質の働きを抑えることで症状を軽くすることができます。花粉の飛散が始まる前から抗アレルギー剤などを使用することが有効とされています。

薬物療法としてはくしゃみ、鼻水の症状を和らげる内服薬と点鼻薬と目の症状を和らげる点眼薬があります。花粉症の症状が出たら、なるべく早めに医療機関で治療を受けましょう。

ジェネリック医薬品を利用してみませんか？～お薬代の節約効果～

ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬と主成分が同一であると認められた低価格なお薬です。

ジェネリック医薬品を使用することにより、**お薬代の負担の軽減**につながります。

花粉症対策の医薬品を毎日使用するとして、先発医薬品とジェネリック医薬品のお薬代を比較しました。金額は、いずれも一般的な用法・用量で計算した**1か月分(30日間)**の自己負担金額**(3割負担)**になります。

ご利用になる調剤薬局によっては、ジェネリック医薬品を取り扱っていない場合がありますので、**医師・薬剤師**にご相談ください。

用法	先発医薬品	1か月分の負担金額	同等のジェネリック医薬品	1か月分の負担金額	負担金額の差額
1日1錠	アレジオン錠 20	1,440 円	エピナスチン塩酸塩錠 20mg「CHOS」	270 円	1,170 円
1日1錠	ジルテック錠 10	1,080 円	セチリジン塩酸塩錠 10mg「クニヒロ」	180 円	900 円
1日2錠	サジテンカプセル 1mg	1,170 円	ケトチフェンカプセル 1mg「タイヨー」	90 円	1,080 円
1日4錠	オノンカプセル 112.5mg	2,430 円	プラニルカストカプセル 「DK」	1,440 円	990 円
1か月2本	インタール点眼液 2%	470 円	シズレミン点眼液 2%	100 円	370 円
1か月2本	サジテン点眼液 0.05%	480 円	ベナンザ点眼液 0.05%	100 円	380 円
1か月2本	フルナーゼ点鼻液 50 μ 56 噴霧用	1,060 円	プロピオン酸フルチカゾン 点鼻液 50 μ g「CH」56 噴霧用	420 円	640 円

※ジェネリック医薬品は「[かんじゃさんの薬箱](#) (外部リンク)」に掲載された中で最も薬価が安い医薬品を選び、計算しています(平成 24 年 2 月 20 日時点)。

※上記は薬代だけの金額です。実際に支払う金額は、薬代に調剤技術料や薬学管理料などが加算されます。